



JLMA CIE セミナー

(旧: JCIE セミナー)

カラー画像技術の潮流と標準化の動向

ここ数年、カラー画像処理技術の分野では、いくつかの先端研究によって新しい潮流が起こっている。印刷物測定角度が拡張され複数角度の反射特性 (BRDF) を測定することで画像再現技術への新しい展開が期待されており、この情報を使って光沢や煌めき感といったこれまで扱えなかった質感を定量化する技術の確立が進められている。また、1000cd/m²を超える輝度のディスプレイが市場に出始めており、広ダイナミックレンジ (HDR) な画像入出力機器、および放送規格 (BT.2100 等) のための色彩技術の標準化が必要になってきている。さらに、再現物(プリント等)同士の新しい色のみえの一致性尺度が注目されており、色再現技術に新しいメニューが加わることが期待されている。さらに、RGB を超える多原色デバイスによるスペクトル画像情報の取得とその再現技術 (マルチスペクトルイメージング) が注目されており、CIE から Technical Report が発行されている (CIE 223 Multispectral Image Formats : 2017/68 ページ)。これら、新しい潮流について動向を確認し、今後の標準化の可能性を占う。

また、本セミナー参加者には Technical Report 「CIE 223 Multispectral Image Formats」の会員価格で頒布 (6,300 円) を行います。

日 時 : 2019 年 7 月 11 日 (木) 13 : 00 - 16 : 15

場 所 : 連合会館 402 会議室

主 催 : (一社) 日本照明工業会 CIE 国内委員会

協 賛 : (一社) 映像情報メディア学会、(一社) 画像電子学会、(一社) 照明学会、
(一社) 電子情報通信学会、(一社) 日本印刷学会、(一社) 日本画像学会、
(一社) 日本色彩学会、(一社) 日本写真学会、(一社) 日本人間工学会、
(一財) 光産業技術振興協会、(NPO) LED 照明推進協議会

セミナー参加費 : 会員・協賛団体会員 無料 (資料代 500 円)

非会員 8,000 円 学生 1,000 円 ※当日受付にてお支払ください。

プログラム (仮題) :

司会 兼松えりか (ニコン)

13 : 00 - 13 : 10 開会挨拶 第 8 部会国内委員長 会津 昌夫 (キヤノン(株))

13 : 10 - 13 : 50 色再現における新しい色一致性の概念と検証 山内 泰樹 (山形大学)

13 : 50 - 14 : 30 マルチスペクトルイメージングとその展開 山口 雅浩 (東京工業大学)

休 憩 15 分

14 : 45 - 15 : 25 BRDF 測定とその応用技術の最新動向

大住 雅之 ((株)オフィス・カラーサイエンス)

15 : 25 - 16 : 05 HDR 向け色彩技術の現状と将来 本村 秀人 (パナソニック(株))

16 : 05 - 16 : 15 閉会挨拶 第 8 部会国内幹事 国場 英康 ((株)ニコン)

